

令和3年度学校評価集計（職員アンケート・PTAアンケート・生徒アンケート）

A：よくできている B：できている C：ふつう D：できていない

番号	領域	評価の観点	実践目標	職員	PTA	生徒	取組への意見	改善への方策
1	安全・安心で教育活動に適した環境づくりを推進する	清掃活動	教室・トイレ・廊下の清掃をきちんと行う。	B		B	特別棟の廊下に、ゴミが多い。	モップを増やしてほしい。
2			ゴミの分別・減量に努める。	B		B	職員室の掃除やゴミ捨ては、職員がする方がよい。	トイレのゴミ箱に、ペットボトルを捨てるなど表示する。
3		生徒の安全確保	個人面談を学期に1回以上実施する。	B	B	A		
4			入学前に中学校訪問を行い、生徒情報を把握する。	B			個人情報の保護で、大事な情報が得られにくくなっている。	
5			いじめアンケートを学期に1回以上実施して対処している。	A	B	A		
6			キャンパスカウンセラー等第三者を交えた事例検討会・研修会の実施。	B				
7			不登校生徒の掌握と情報共有を確実にを行う。	B				
8		人権・防災教育	人権教育に係るロングホームルーム計画を、学年ごとに行う。	B				
9			人権通信などを通じて、生徒の人権意識の向上を図る。	B	B			
10			スマホ等インターネット上における誹謗中傷、集団的いじめをゼロにする。	B	A	B	具体策が見えにくい。	被害者が、警察に届けるべきである。
11			防災通信などを通して、生徒の防災意識の向上を図る。	B	B		防災通信が、定期的に出されていてよいと思う。	
12	自ら学んでいこうとする意欲・態度を培う	学力の向上	すべての生徒の家庭学習時間を最低1時間以上にする。	D	B	B	個別面談で、状況を把握する必要がある。	
13			考査前の補習、質問会、学習会を実施する。	B				
14			生徒に「学習の記録」を継続的に書かせる。	B		D		
15			考査前、考査中の「NO部活デー」の積極的実施。	B			いきいき部活動を守ってほしい。	練習にメリハリをつけ、考査前はしっかりと机に向かわせたい。
16		進路希望の実現	本校の生徒の実態に即した進路指導計画を作成する。	B				外部へ、取り組みを発信してほしい。基礎基本の徹底からスタートさせるべきである。
17			進路指導通信等を活用し、生徒への適切な情報提供を行う。	C	B	B		
18			進路講演会や進路ガイダンス等の開催により、職業観・勤労観を高めるキャリア教育の充実を図る。	B	B	B	本校は、回数が多くてよいと思う。	
19		ボランティア活動などの高校生ふるさと貢献活動に意欲的に参加させた。	B			コロナの影響が長引き、難しい。 夏休みに、スボゴミ甲子園に参加した。(ボランティア活動)		
20	生活習慣の確立	制服の正しい着用について、全職員で指導に当たる。	B	A		スカートを折っている女生徒が多い。	朝、立ち番の職員で、ネクタイ・リボンの指導をして、よくなってきている。	
21		朝の挨拶をする習慣を育成する。	B	B	A			
22	その他	資質向上	ICTなどを活用した公開授業を実施している。	C			ICT環境が、良いとは言えない。	令和3年度は、計画的に実施する予定である。
23			評価方法等の研究を年度ごとに行う。	C				令和3年度は、観点別評価表の作成を依頼している。
24			シラバスの見直しを年度ごとに行う。	B				
25		勤務時間の適正化	毎週定時退勤日を設定し、勤務時間の縮減を図る。定期考査中は「定期退勤週間」「NO会議週間」とするなど、年休・代休等が取りやすい環境を整える。	C			定期考査中に会議が設定されるなど、年休・代休等が取りやすい環境ではない。	
26	広報	学校ホームページの更新を積極的に行う。	B	A		積極的に更新する部や学年が、増えてきている。		